（臨床研究に関する公開情報）

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

当院におけるテリパラチド、ロモソズマブ終了後の骨粗鬆症治療継続に関する調査

[研究責任者]

江南厚生病院　薬剤部　城山晴佳

[研究の概要]

骨粗鬆症は骨折の原因になり、1 度骨折をすると繰り返し骨折する危険性が高くなります。骨粗鬆症による骨折の予防には骨粗鬆症治療が重要です。令和 4 年度の診療報酬改定では、二次性骨折予防を促進する観点から、二次性骨折予防管理料が追加されました。テリパラチドやロモソズマブのような骨形成促進作用をもつ薬剤は投与終了後に骨吸収が亢進することがわかっています。「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015」では、テリパラチド終了後は骨吸収抑制薬を用いた逐次療法が推奨されています。また、ロモソズマブの添付文書には終了後に骨吸収抑制薬の使用を考慮するよう記載があります。当院での骨粗鬆症治療における逐次療法の状況を調査します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2019 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日の間に当院にてテリパラチドまたはロモソズマブが開始され、投与中または投与後に他院へ紹介されていない方。

●利用するカルテ情報

診療内容、注射処方、内服処方

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院　薬剤部　城山晴佳

電話　0587−51-3333　　FAX　0587−51-3337